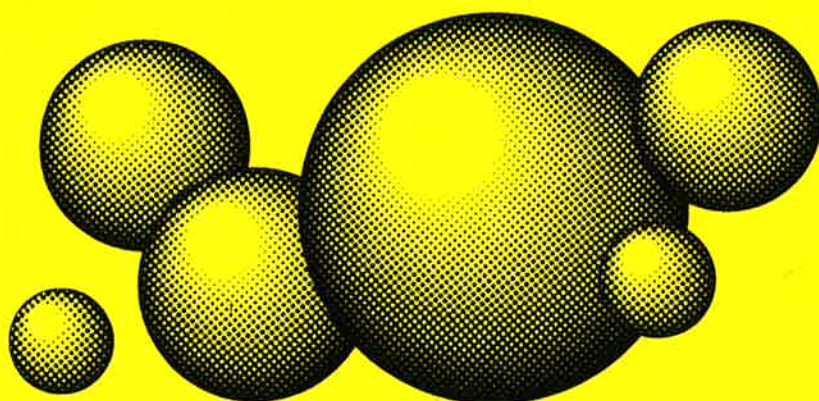


日本ラテックスアレルギー研究会会誌

Japanese Journal of Latex Allergy

Vol.18 No.1 2014



日本ラテックスアレルギー研究会
Japanese Society of Latex Allergy

IV. 日本ラテックスアレルギー研究会会誌の原稿執筆について
当研究会でご講演いただきました内容を、研究会会誌としてまとめております。以下の内容に沿って原稿の作成をお願いいたします。

【執筆要項】

原稿容量：6,000 字程度（図表は各々1 ページで 400 字相当としてください）

原稿：下記のいずれかの方法で文書ファイル（A4 版）をお送り下さい。
Microsoft Word 及び PowerPoint 以外の図表は A4 版用紙にプリントしてご郵送ください。

- ご使用になるソフトは Microsoft Word でお願いいたします。
機種は Windows でお願い致します。（Mac の場合はご相談ください）
- 図表は、原則としてプリントアウトされたものをそのまま使用いたしますが、Word に組み込まれた図表はそのまま使用いたします。
会誌の印刷はモノクロになります。
- 締め切り：2014 年 9 月 12 日

問い合わせ・送付先：

日本ラテックスアレルギー研究会事務局
東京都立小児総合医療センター アレルギー科
〒183-8561 東京都府中市武蔵台 2-8-29
TEL：042-300-5111（代表） FAX：050-3737-4849
赤澤 晃
e-mail: info@latex.jp
URL: http://www.latex.jp/

ラテックスアレルギー・OASフォーラム2014
第19回日本ラテックスアレルギー研究会
プログラム

開会の辞 9:25～9:30

会長：北林 耐

一般演題 I 9:30～10:00

ラテックスアレルギー

座長：内藤 徹（福岡歯科大学総合歯科学講座高齢者歯科学分野）
宮坂勝之（聖路加国際病院周術期センター）

1. 特徴的な感作パターンを示した小児ラテックスアレルギーの1例
福田啓伸、吉原重美、田村元子、有阪 治
（獨協医科大学小児科）
2. 最近経験したラテックスアレルギーの3例
佐野晶代¹⁾、矢上晶子¹⁾、山北高志¹⁾、小林東¹⁾、岩田洋平¹⁾、
有馬 豪¹⁾、鈴木加余子^{1),2)}、山田雅啓³⁾、松永佳世子¹⁾
（藤田保健衛生大学医学部皮膚科学¹⁾、刈谷豊田総合病院皮膚科²⁾、
山田皮フ科³⁾）
3. 当院採用医療従事者のラテックスアレルギー罹患状況についての調査
（前方視的研究 最終報告）
石田修一、猪又直子、長島真由美、伊藤香世子、金岡美和、
相原道子
（横浜市立大学医学部皮膚科）

教育講演 I 10:00～10:30

座長：秀 道広（広島大学大学院医歯薬総合研究科皮膚科学）

食物アレルギーの現状と課題

今井孝成（昭和大学医学部小児科学講座）

教育講演Ⅱ 10:30~11:00

座長：柴田瑠美子（国立病院機構福岡病院小児科）

経皮感作とアレルギー疾患の発症

石川良子（昭和大学医学部小児科学講座）

休憩 11:00~11:10

特別講演Ⅰ 11:10~12:00

座長 斎藤博久（国立成育医療研究センター研究所）

Importance of molecular allergy diagnosis in Latex-vegetable syndrome

Ignacio J Ansotegui

(Department of Allergy and Immunology - Hospital Quirón Bizkaia - Spain)

意見交換会・懇親会 12:00~12:50

シンポジウム 12:50~14:00

ラテックスアレルギー安全対策ガイドライン2013改訂のポイント

座長：赤澤 晃（東京都立小児総合医療センターアレルギー科）

松永佳世子（藤田保健衛生大学医学部皮膚科）

1. 安全対策ガイドライン改訂のポイント
近藤康人（藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院小児科）
2. ゴム手袋に含まれる化学物質による遅延型アレルギーについて
矢上晶子（藤田保健衛生大学医学部皮膚科学）
3. 手術室看護師が行うラテックス・OASを持つ患者の対策について
大竹美紀（藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院看護部手術室）

特別講演Ⅱ 14:00~14:50

座長：池澤善郎（国際医療福祉大学熱海病院皮膚科）

口腔アレルギー症候群の実態と抗原解析

森田栄伸（島根大学医学部皮膚科）

休憩 14:50~15:00

一般演題Ⅱ 15:00~15:40

口腔アレルギー症候群

座長：大矢幸弘（国立成育医療研究センターアレルギー科）

原田 晋（はらだ皮膚科クリニック）

4. クラス1キウイアレルギーの小児例
（キウイアレルギーの患者背景に関する考察と共に）
原田 晋¹⁾、森山達哉²⁾
（はらだ皮膚科クリニック¹⁾、近畿大学農学部応用生命化学科²⁾）
5. 経皮感作と考えられたキウイ・パイナップル・サルナシによる口腔アレルギー症候群の1例
長島真由美¹⁾、中村和子¹⁾、久田恭子¹⁾、相原道子²⁾、蒲原 毅¹⁾
（横浜市立大学附属市民総合医療センター皮膚科¹⁾、
横浜市立大学大学院環境免疫病態皮膚科学²⁾）
6. イムノプロットによる果物のビワアレルギーの同定とその特徴
高岡有理¹⁾、近藤康人²⁾、徳田玲子³⁾、藤澤隆夫⁴⁾、森川昭廣⁵⁾、
土居悟¹⁾
（大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター小児科¹⁾、
藤田保健衛生大学坂分種病院小児科²⁾、
徳田ファミリークリニック³⁾、国立病院機構三重病院⁴⁾、
北関東アレルギー研究所⁵⁾）